

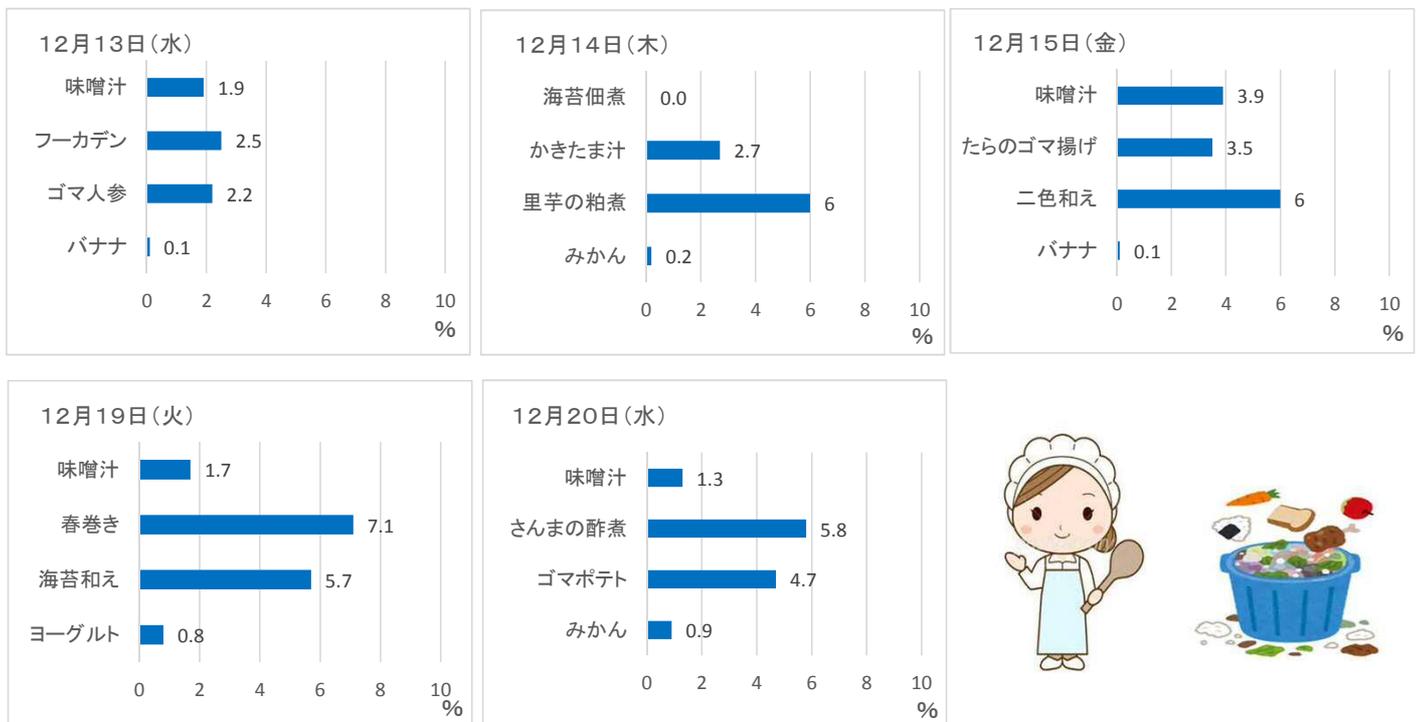


残食調査を実施しました！

公立保育園の昼食で、12月13日～20日のうち5日間で残食調査を行いました。主食以外の献立について、3歳以上児の子どもたちがどの程度食べているかを調べるため、献立ごとに残量を計測して調査しました。

公立保育園4園の平均の結果は次のとおりです。

残食調査結果



－ 残食調査の結果より －

今回の調査では、あまり食べ慣れないと思われるレバーや里芋、魚を使った献立を対象としましたが、どの献立においても残食率が10%以下で、概ねよく食べているという結果が得られました。

残食が多く見られたのは‘春巻き’でしたが、春巻きの皮が固く食べにくさがあったようです。また‘里芋の粕煮’‘二色和え’は野菜中心の献立であったためか残食が見られました。‘さんまの酢煮’については、この日の献立の彩りがあまりよくなかったため、食べ進みが悪かったのではと推測されます。

今回の調査結果を踏まえ、今後も引き続き必要な栄養価を満たしながら、子どもたちが美味しく楽しく食べられる給食の提供を心がけていきます。

※来年度も引き続き残食調査を行ない、結果を公表していきます。

年間行事と食べ物

一年を通して行事とそれにまつわる食材についてご紹介します。

お正月



おせち料理は、お正月に食べる料理です。

‘めでたさを重ねる’という縁起をかついで、重箱につめられています。中につめられている料理にも、健康長寿や五穀豊穡、子孫繁栄などの願いがこめられています。



節分は立春の前の日のことをいい、病気やけがなどの“悪い鬼”を追い出すために豆まきをします。まく豆は**大豆**で、自分の年の数(あるいは年の数+1粒)だけ豆を食べます。

最近では大阪で行なわれていた、その年の恵方を向いて願い事を思い浮かべながら、無言で丸かじりする習わし「恵方巻き」の風習が全国に広まっています。

保育園では大豆の入った『大豆カレー』を提供しています。

節分



ひな祭り



3月3日ひな祭りには、ひな人形を飾り、桃の花や**ひなあられ**、**ひしもち**、白酒などをお供えします。

ひしもちは三色ですが、緑=若草、白=雪、ピンク=桃の花を表しており、冬が去って春になることを意味しています。

また、ひし形は心臓の形を表し、子ども達が丈夫に暮らせるようにとの願いも込められています。

保育園では『お赤飯』を提供しています。



5月5日はこどもの日は、端午の節句です。

端午の節句の食べ物のひとつに**かしわもち**があります。かしわもちは‘かしわの葉’で白いもちをくるんだもので、かしわの葉は新しい芽が出てこない古い葉が落ちないので、いつまでも元気に続くようにという願いをこめています。

保育園では日程があえば『べこもち』を提供しています。

端午の節句



七夕

七夕には、年に一度だけ天の川に橋がかかり、織姫と彦星が会うことができるという伝説があり、

天の川に見立てて**そうめん**を食べる慣わしがあります。



十五夜の時期には、たくさんの作物の収穫時期を迎える頃となり**月見団子**や旬の果物、すすき等をお供えし、感謝の気持ちをこめてお祝いする意味があります。

十五夜には15個、十三夜には13個のお団子をお供えします。

保育園では日程があえば『団子メニュー』を提供しています。

十五夜



冬至



冬至は一年で一番昼が短く、夜が長い日のことです。

冬至に「ん」の付く食べ物を食べると幸運に恵まれるといわれており、**南瓜**は‘なんきん’ともいうことから冬至にはゆず湯に入り南瓜を食べて健康を祈ります。

保育園では日程があえば『南瓜料理』を提供しています。